

移住交流
ポータルサイト
iga-style



移住者の集い 第2回



10月26日(土)夕方、市民センターで市の地域づくり推進課の移住担当者等も参加して、既に移住されている方やこれから移住しようとする方を交え20名が懇談を行いました。

柘植地域 まちづくりだより 第247号

松阪・津方面

人権フィールドワーク



←三重県人権センター

2019差別をなくす
強調月間
11月11日～
12月10日



10月14日(月)に柘植12区合同で各区からの34名の参加者により、人権フィールドワークを行いました。午前中は松阪市にある150年前の北海道名付け親でアイヌ文化を大切に、それを伝えた松浦武四郎記念館に行き、館内で説明を受け、展示物を見てまわりました。そのあと、松浦武四郎の生家や旧伊勢街道を案内していただきました。午後は津市の三重県人権センターに行きました。西井正和さんから「人権とは」「差別をなくす世界の潮流」「差別の実態」「部落の歴史」について講義を受け、常設展示室を案内していただきました。

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
発行日 二〇一九(令和元)年十一月十五日(金)

柘植地域俳句コーナー
畑の土より
霧晴れし
伊賀の朝
石河宏子

3地域が協力して、今年もいがまち展覧会ができました。

バザー出品ならびにお買い上げ、協力ありがとうございました

会場には、柘植地域まちづくり協議会の「活動紹介」も展示。取り組みをPRするとともに、振り返るよい機会にもなりました。



65,000円を寄付しました!
10月28日(月)、贈呈式を西柘植小学校において行いました。

10月26日(土)、27日(日)の2日間、いがまち公民館・西柘植市民センター等を会場に、いがまち展覧会(主催:いがまち展覧会実行委員会)が開催されました。

まちづくり協議会からは、住民みなさんの協力を出していただいた品物を使って、チャリティーバザーが開催され、売上金(経費を除く)をいがまち管内の小中学校に寄付いたしました。



柘植の齋王については、新聞報道もされたように、あけぼの学園高校の生徒さん、ふるさと音頭保存会の有志の方々に出演していただき、華やかな平安絵巻を来場者の前で披露! つつじ祭に次いで、PRができました。



コーヒーショップ 初出店!

売上げ(経費を除く)は、まち協の雑収入として扱います。多数のご利用、ありがとうございました。

また、今年度は役員が中心となってコーヒーショップを出店し好評を得ました。

11月10日(日)、第15回伊賀市民スポーツフェスティバルが開催され、柘植地域からは、唯一ゲートボール種目(しらさぎ運動公園多目的グラウンド)に出場しました。

結果は、健闘及ばず1勝3敗でしたが、他地域との交流も進み、楽しい一日が過ぎました。



小杉区ゲートボールチームが出場!

阿波地域・布引地域とともに

速水林業(講義と視察)、熊野原木市場へ



東紀州へ合同林業研修

産業交流部会

11月5日(火)、「みえ森と緑の県民税」を活かした研修として、大山田の阿波地域・布引地域との連携による林業研修を実施しました。今年で3年目となる見学研修は、柘植地域から11名が参加し、林業について意識を高めました。森林地帯を多く持つ柘植地域の将来のためにも今後とも近隣地域と連携しながら、森林保全と林業の活性化をめざして研修を深めたいと思います。



速水林業(紀北町)は、江戸時代の1790年から林業を開始しました。当時の紀州藩は植出権といって、植林すればその林を自分のものにできる政策をとっていたため、尾鷲地域で人工林が広がっていました。尾鷲は江戸と直結した産地だったため、江戸の町が繁栄するにしたがって、伐り出された木材が船に載せられて大量に江戸へと運ばれ、尾鷲ヒノキは優れた木材として知られるようになりました。

現在もヒノキの生産を主体とし、地域の重要な森林を受け継いでいます。環境配慮型の森林経営は、ヒノキやスギ以外の広葉樹の低木や下草を生やし、表面土壌の流失を防ぐことで土壌を維持。また、間伐を欠かさずに日の光を入れることで、明るい林を造り出し、生物の多様性を確保するように考えられています。速水林業のこうした環境配慮型の森林経営は国際的機関であるFSC(森林管理協議会)の認証を2000年2月に国内で初めて取得しています。



みえ森と緑の県民税

三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日から「みえ森と緑の県民税(年額一人1000円)」を導入しました。



詳しくはQRコードからご覧ください。



阿波地域の有害獣対策… そのチームづくりを学ぶ!

産業交流部会(有害獣対策係)

10月28日(月)午前、柘植地域から7名が阿波地区市民センターを訪れ、サルやシカなどの有害獣捕獲や追い払いをどのような体制で行っていくべきか、柘植と阿波の地形的な違いも含め考える事ができました。これから猟期に入ります。また、昨年は年末年始に倉部~小学校付近にサルがよく出没しました。皆さんの情報提供と追い払い協力をお願いします。



熊野原木市場は、昭和5(1982)年から、紀伊半島南部の原木流通ターミナルとして、「熊野の材は熊野で販売を」という目標を掲げ、毎月2回の市や年3回の特別市などが行われています。岐阜や福井など遠くからも良材を求めて買い付けにいられています。

柘植の街に応援の音が響く!

第3回忍者トレイルランニング大会



がんばれ〜っ!

ランナーを各所で誘導。
ハイタッチで応援!

平地区の名阪国道
アンダーパス付近

市民センターはランナーのオアシスに!

「今年も来たヨ!」・・・、リピーターのランナーも多数いらっしゃいました。

市民センターではランナーのエイドステーションとして、おもてなしました。

11月3日(日)、好天に恵まれ、第3回のトレイルラン大会が開催(ブレ大会を入れると4回目)されました。

地元ボランティアアスタツフ総勢45名で、霊山寺下から林道く柘植地内く奥余野付近にてランナーを誘導。



ランナーのみなさんに温かい豚汁を振舞うとともに、笑顔と声援で元気づけ!!



▼10月17日(木)午前、伊賀警察署で「特殊詐欺撲滅員委嘱状交付式」があり、センター長(西田)が参加しました。被害にあわないためには、家族や知人への相談が大切です。決して一人で行動しないこと。要は人とのつながりを切らさず、困った事やおかしいと思ったことは相談を。▼「電話を一旦切つて、こちらから改めて電話する」旨を伝えましょう。

☆☆事務局だより☆☆

来年も地域挙げて応援しましょう!



QRコードから、今大会のダイジェスト映像を見ることができます!



伊賀警察署

0595

(21)

0110

不審に思ったら・・・



見たいワン!

